

きれいな町でおもてなし

サミット開催がせまり、きれいな町でお迎えしようと、町内では、植栽やゴミ拾いなどがいろんな取り組みが行われ、サミット開催の機運を盛りあげました。

白鳥をイメージした花壇作成

6月9日、高橋建設(高橋哲也社長)では、洞爺湖消防署洞爺支署横にある社有地に、花壇(15m×1.6m)を作成し、その花壇に鳥の親子をイメージして、12,000株ほどの花を植えました。



白鳥をイメージした花壇

中澤総務部長は「サミット首脳を白鳥がお出迎えするというコンセプトで作って見ました」と出来栄に満足そうでした。

洞爺湖のシンボル中島 清掃でおもてなし

サミット開催を控えた6月7日、洞爺湖のシンボルである中島をきれいにしようと、洞爺湖町文化団体連絡協議会(越前谷邦夫会長)が清掃活動に汗を流しました。当日は、会員約80人が参加して、島の湖畔や大平原までの遊歩道で、ゴミや空き缶、吸殻などを拾い集めました。小雨も降るあいにくの天候でしたが、会員らはいっぱいになったビニールの袋を手に、「きれいになった」と清々しい笑顔を見せていました。



あいにくの天候の中
行われた中島清掃

虻田洞爺湖ICでも植栽

ウイメンズ洞爺湖(青木佐智子会長)は、6月26日、ネクスコ東日本の厚生事業を担っている道路厚生会から助成を受け、約30人が参加して、特注ウイスキー樽プランターに、約800株の花を植え、虻田・洞爺湖ICに設置しました。



特注樽プランターに花を植える会員の皆さん

国道37号沿いに 花いっぱい

虻田2区自治会(加藤公二会長)では、婦人部を中心に6月6日、約15人の部員が参加して、2区町内の国道37号沿いに植栽プランターを約20個設置し、サミット開催を盛り上げました。



花植えてサミット開催を
盛り上げる虻田2区自治会